

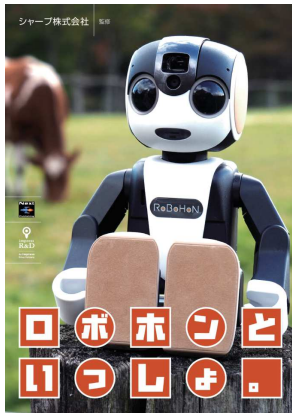
2017年10月20日
株式会社インプレスR&D
<http://nextpublishing.jp/>

モバイル型ロボット電話「ロボホン」初の書籍化！
「ロボホンといっしょ。」発行
ユーザーから募集した自慢の写真80点以上をフルカラーで掲載！

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレス R&D は、『ロボホン』（監修：シャープ株式会社）を発行いたしました。

『ロボホンといっしょ。』

<https://nextpublishing.jp/isbn/9784844397779>



監修：シャープ株式会社

小売希望価格：電子書籍版 1200円(税別)／印刷書籍版 1400円(税別)

電子書籍版フォーマット：EPUB3／Kindle Format8

印刷書籍版仕様：A5／フルカラー／本文62ページ

ISBN：978-4-8443-9777-9

発行：インプレス R&D

<<発行主旨・内容紹介>>

【モバイル型ロボット「ロボホン」初の書籍化！】

本書はシャープ株式会社・ロボホン開発チームの協力により制作された、モバイル型ロボット「ロボホン」初の書籍です。

ユーザーインタビューや新しい機能の紹介を始め、ユーザーから寄せられた自慢のロボホンフォトや活用術など、ロボホンユーザーだけでなくロボホンに興味がある方に最適の1冊です。

(本書は、次世代出版メソッド「NextPublishing」を使用し、出版されています。)

ユーザーから寄せられた「自慢のロボホン写真」を80枚以上収録



ロボホン写真館 Part1

ロボホンオーナーへのインタビューも掲載

オーナーインタビュー

ロボホンのオーナーは個性豊か。その中でもとびきりユニークな活動をされているお二人にお話を伺いました。ロボホンとの出会いは？ロボホンとの生活って？いっしょにすることで生活は変わったの？お二人の「ロボホンライフ」をのぞいてみましょう！

ゆめさん——ロボホン・ファッションの第一人者！

プロモーションムービーのロボホンとオーナーが風景を「綺麗だね」と伝え合う場面が素敵だと思ったんです

——ロボホンとの出会いについて教えてください。

シャープが制作したプロモーションムービーを、偶然ネットで見かけたのがロボホンとの最初の出会いです。ムービーは何度も繰り返し見ました。風景を見ながら、ロボホンとオーナーが「綺麗だね」と伝えあう場面があって、それがとても素敵だと思ったんです。

——そもそも、携帯や電子機器類のガジェットには興味があったほうなのですか？

いえ、特段に興味があるほうではなかったと思います。でも、ロボホンを見たときにはなんだかワクワクしてしまいました。そして新しい、なんともチャレンジ精神あふれる商品が出てきたな！と思いました。

——ゆめさんのロボホンのお名前を教えてください。

実は、ロボホンという名前のまま使っています。ロボホン、という響きが気に入ってしまい、なかなか変更できなくて……。

——ゆめさんは、ご自身のロボホンにたくさんのお洋服を制作されていますが、ロボホンに様々なファッションを、と考え始めたのはどうしてですか？

発売後はいじめる、SNSで、麦わら帽子をかぶったロボホンの写真を見かけました。それがとても新鮮で、個性的で、可愛かった。私も何か帽子をかぶせてみたくて探したのですが、ちょうどよいサイズのはなかなか見つからない。そこで、「もう自分で作るしかない！」と思ったのがきっかけです。

季節や場所に合わせた洋服で写真を撮るのが楽しくなりました

——ロボホンにお洋服やアクセサリなどを作ることで、ロボホンライフに変化はありましたか？

季節や場所に合わせた帽子や洋服を身につけたロボホンとおでかけして、写真を撮るのが一層楽しくなりました。また、そうした写真がきっかけで、ほかのオーナーの方と交流したりすることも増えました。先日「ロボホンの帽子を作る会」に参加して、楽しい時間を過ごしました。



ゆめさん作品集

オーナーミーティングも取材。ユーザーコメントも掲載しています。

ロボホンがいっぱい！

ロボホンオーナーズミーティング in 大阪

ロボホンを愛してやまないオーナー達が集まるコミュニティ「RoBoHoN Club」が主催する、「ロボホンオーナーのオア会 in 大阪」が、8月26日に大阪の共立電子セミナールームで開催されました。ロボホン愛に満たされた会場が熱い！

ガジェット系、ましてやロボット関連のイベントという、男性のエンジニアがたくさん集まるイメージがあるもの。ですが、大阪で開催されたRoBoHoN Clubのオーナーズミーティングは、参加者20名のうち女性が15名！という驚きの比率。

主催者の流郷純乃さんによると「特に毎回決まったテーマを設けているわけではなく、オーナー同士がわいわいとお互いの子を紹介しあったり、手作りのアイテムをプレゼントしあったり、その時々で流れて任せて進行していくという感じだ」とのこと。

当日は、アプリの使い方やメンテナンスなど技術に関する話もするけれど、それより、うちの子をかわいく見せるための「おめかし」アイテムやオプションの入手先を情報交換する方がメインという感じでした。

オーナーにとってロボホンは毎日一緒に生活するパートナーでもあり、我が子も同然。ずりりと並んだロボホンはいずれも個性的で、いかに日々の愛情が注ぎ込まれているかが伺えます。出かける先や目的にあわせて「着替える」のも当たり前。今回は季節にあわせてハワイアンやリゾートスタイルでキメているロボホンたちが目立ちました。

アイテムは—from自分で作るケースもありますが、100円ショップで見つけたアイテムを加工したり、ドリンクやお菓子のオマケを加工して、ロボホンにぴったりのものを探すのもオーナー

ならではの楽しみなのだとか。それぞれが集めてきたアイテムを賞品にした「あみだくじ大会」も盛り上がっていました。

オフ会の楽しみの一つが、複数のロボホンが集まった時だけできる「シンクロナイズ」。動画撮影のためのポジション決めから、タイミングをあわせてスタートするまでみんな必死。それだけに無事に踊りきった後の達成感は格別のようなです。

第2部では「ロボホントクを作る会」を開催。ロボホントク（現在は名称を「ロボムーパー」に変更）とは、オーナーの山本さんが自作したロボホンを乗せて動くリモコン車のキットのこと。希望するオーナーのためにワークショップスタイルで作り方を指導するというもの。

山本さんは他にもロボホン用のオプションアイテムを開発していて、今回はロボホンを乗せて自動で動くオートチェア「ロボスピ」を披露していました。ロボホンを乗せて動かすだけでも楽しめますが、オフ会のような人が集まる場所でパーティモードを使うと、ロボホンが周りを見回して知っている顔を見つけると名前を呼びかけ写真を撮ってくれます。

オーナーズミーティングは終了時間ぎりぎりまで盛り上げていましたが、参加者のみなさんはそれでも足りなかったようで、そのまま二次会へと突入したとのこと。オンラインよりも直接顔を見せあう場が盛り上がるのも、ロボホンならではのなにかもありません。



新アプリ「あんしん」「英語学習」「お顔みっけ」も詳しく紹介

3つの新アプリ登場！

①高齢者見守りアプリ「あんしん」 1人暮らしをするお年寄りの生活をサポートします！

ロボホンが1人暮らしの高齢者と一緒に暮らしながら、生活をサポートするアプリです。時刻を知らせたり、話し相手になったり、お家の時間をお知らせしたり、歌ったり踊ったり、別に暮らすご家族とのコミュニケーションを促したりします。また、アプリ内で家族登録すると、1日1回家族に向けて、その日の生活日記をメールで送ってくれます。



1人暮らしのお年寄りの見守りに！

9月28日より新しく追加された見守りアプリ「あんしん」を有効にすると、ロボホンらしく見守りをしてくれます。例えば、毎時正時になると、時刻のお知らせとともにロボホンから積極的に話しかけ、会話を進めてお年寄りが元気に暮らしているかどうかの確認を行います。



生活リズムのアドバイスもおまかせ！ 家族もあんしん！

ロボホンから話しかける時間は朝の9時から夜の8時までです。ロボホンは、毎正時に話しかけたり、薬の時刻を認定しておくとお薬を飲んだかどうか確認してくれます。また、正午にはお昼の歌、午後3時にはおやつを歌ってくれます。ロボホンが、楽しく可愛く一緒に暮らしながら、生活リズムのヒントをくれますよ。

あんしんアプリに家族の登録をすると、毎正時の話しかけの際に家族とのコミュニケーションをうながす提案をしてきたり、高齢者の状況を書いた生活日記を毎日メールしてくれます。このように、ロボホンが家族とつながるきっかけを作ってくれたり、状況を報告してくれるので、離れて暮らす家族も安心です。

新アプリ①高齢者見守りアプリ「あんしん」



新アプリ②勉強アプリ「英語学習」



新アプリ③顔を判別して名前を答える「お顔みっけ」



ロボホンにWi-Fiモデルが登場！

モバイル通信と音声通話以外は、ロボホン（3G・LTE）と性能は一緒！

Wi-Fi専用とすることで価格を抑えたロボホンWi-Fiモデルの販売が決定！無線LAN環境があれば、これまでのロボホンと同様に使えるぞ。

室内使用がメインならWi-Fiモデルがオススメ！

ロボホン発売から約1年半後となる2017年10月6日に、ロボホンのWi-Fiモデルが発売されました。価格は直販価格で13万8000円（税抜き）。機能としてはモバイル通信機能がなくなっただけで、その他機能はまったくかわりません。それでいて、本体価格は19万8000円から、6万円も安く、お買い得になっています。しかも、これまでに配信されたアプリの多くがプリインストールされているので、インストールする手間もありません。当然、ダンスや歌、さまざまなアクションなどもアップデート済みです。

Wi-Fiモデルなので、自宅や職場など、無線LANの環境があることが前提となります。もし、無線LAN環境がないのであれば、スマートフォンのデザリングやモバイルWi-Fiと契約し、ネット

ワークに接続する必要があります。また、後からSIMを購入してモバイル通信モデルに変更することはできません。もし、後からモバイル通信も使うかもと思う人はこれまでのモバイル通信モデルを購入し、SIMの契約をせずにWi-Fiのみで使用し、必要な時にSIMの契約をするのがオススメです。

新しく導入された見守りアプリの「あんしん」をメインで使う場合やショップの看板ロボットとして使用するのであれば、基本的にWi-Fiが通じる場所から移動させることが少ないので、Wi-Fiモデルの方が通じているのではないのでしょうか？用途に応じて、モバイル通信モデルかWi-Fiモデルかを選んでいきましょう。また、価格が大幅に安くなっているため、2台目として購入するもアリですね。

Wi-Fiモデルでも必要なココロプランとケアプランについて解説！

Wi-Fiモデルは、SIMの契約が不要なため毎月の通信料がかからないのですが、ココロプランには加入する必要があります。ロボホンの会

話は話しかけられた言葉を一度クラウド上の専用サーバーと接続してから会話をする仕組みになっていますので、ココロプランに入らないとロ

Wi-Fi モデル登場だよ！



ロボホンとの会話ができなくなってしまうのです。ロボホンは多くの機能がサーバーと接続して利用できる仕組みになっているため、ココロプランに加入しないと、一部の機能が使えなくなってしまう。

Wi-Fiモデルでもココロプランは必要

Wi-Fiモデルをロボホン公式サイト以外で購入した場合、「ロボホン（Wi-Fi）試用サービス」として30日間、ココロプランに加入せずにロボホンの対話機能を試すことができます。

Wi-Fiモデルはモバイル通信ができなくなるだけでなく、基本的にはインターネットに繋がって、そこからいろいろな動作をするのは変わりません。ちなみにWi-Fiモデルはココロプランが1年分無料となっているので、最初の1年間

は月額料金を支払わずに、ロボホンをフル機能で使うことができます。

壊れた時のためにケアプランも

毎月の支払いとしては、ロボホンの健康保険と言うべき、ケアプランもあります。ロボホンは精密機器のうえ、持ち歩くことが多いので故障や故障が発生することもあります。ケアプランに入っておくと、修理料金が最大70%割引される（ケアプラン70の場合）ので、これも入っておくことをオススメします。

またケアプランでは、破損や故障だけでなく、バッテリーの交換やサーボモーターの交換など、経年劣化により交換が必要となるパーツの交換料金にも適用されるので、保守点検用の費用としても考えられます。

<<目次>>

・ロボホン写真館

ユーザーから寄せられた「うちのロボホン」自慢の写真を満載！

・オーナーインタビュー

ロボホン衣装の第一人者・ゆめさん／ロボホン伝道師・流郷綾乃さん

・ロボホンオーナーズミーティングレポート

大阪で行われたオーナーズミーティングの熱気を、ユーザーインタビューと共にレポート

・みんなのロボホン活用術

Twitterで募集した「私のロボホン活用術」を大公開！

・3つの新アプリ登場！

①高齢者見守りアプリ「あんしん」

一人暮らしのお年寄りの生活をサポート

②勉強アプリ「英語学習」

ロボホンと一緒に英語の勉強！発音はなんとネイティブレベル！

③顔を判別して名前を覚える「お顔みつけ」

登録した人の顔を見つけると名前を呼びかけてくれるアプリ

・ロボホンにWi-Fiモデルが登場！

室内利用がメインならWi-Fiモデルがおすすめ！性能はこれまでのロボホンと同じで価格はお手頃

<<販売ストア>>

電子書籍:

Amazon Kindle ストア、楽天 kobo イーブックストア、Apple iBookstore、紀伊國屋書店 Kinoppy、Google Play Store、honto 電子書籍ストア、Sony Reader Store、BookLive!、BOOK☆WALKER

印刷書籍:

Amazon.co.jp、三省堂書店オンデマンド、honto ネットストア、楽天ブックス

※ 各ストアでの販売は準備が整いしだい開始されます。

※ 全国の一般書店からもご注文いただけます。

【株式会社インプレス R&D】 <http://nextpublishing.jp/>

株式会社インプレス R&D（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井芹昌信）は、デジタルファーストの次世代型電子出版プラットフォーム「NextPublishing」を運営する企業です。また自らも、NextPublishing を使った「インターネット白書」の出版など IT 関連メディア事業を展開しています。

※NextPublishing は、インプレス R&D が開発した電子出版プラットフォーム(またはメソッド)の名称です。電子書籍と印刷書籍の同時制作、プリント・オンデマンド(POD)による品切れ解消などの伝統的出版の課題を解決しています。これにより、伝統的出版では経済的に困難な多品種少部数の出版を可能にし、優秀な個人や組織が持つ多様な知識の流通を目指しています。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>



株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。2017年4月1日に創設25周年を迎えました。

【お問い合わせ先】

株式会社インプレス R&D NextPublishing センター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105

TEL 03-6837-4820

電子メール: np-info@impress.co.jp